

にじみ絵（水彩絵具）とカラフルな羊毛によるファンタジーな保育スキルです

～発達支援を必要とする子どもに、落ち着き感と情緒的な安心感を与えます～

第1回：6/26（日） 第2回7/24（日） 1回 10,000円（材料費含む） 選択式講座 13：00～17：00

オランダの国際幼児教育会議で一人の講師が話された言葉です。

人気実技講座

「保育がこれほど複雑になってきた今日、従来の保育の勉強だけでは到底対応できない時代。それ故に、これからは Pedagogy（ペダゴギー）と呼ばれる「保育方法論」が必要です。Pedagogyの語源はギリシャ語で「子どもを導く」という意味だそうですが、現代の Education(教育)のように、教える、伝える教育や見守る保育とは異なり、具体的な保育スキルを持った保育者が、積極的に子どもに関わる保育が求められています。」

【講師紹介】全2回 場所：NPO法人国際臨床保育研究所（大阪市天王寺区上本町8丁目4-11 キムラビル5F）

西村 久容 （にしむら ひさよ）

（ほいくえんももの家 ほいくえんももの家だいち統括園長
ゲート（スイス）アヌム・シュタイナー幼児教育協会認定
シュタイナー幼児教育教員課程修了。



長年の公立保育園勤務を経て、私立保育所、ほいくえんももの家、ほいくえんももの家だいちを設立。シュタイナー教育の実践活動では長年のキャリアがあり、優れた音声でわらべ歌を指導されます。彼女がペンタシロフォンを使って子どもの言葉を引き出すスキルはうっとり聞かれます。



昨年の講座

